

大江戸大学  
開学50周年記念事業

# 大江戸大学 機関リポジトリ構築 説明会



EDO

平成22年度学術ポータル担当者研修  
グループ討論 第4班

# 前提条件

- 学長指令により、構築決定。教員にむけて、「機関リポジリを作ります」という案内プレゼン。
- 大江戸大学の規模  
3学部(文・経・法)・大学院あり  
学生数3000人 教員数150名  
図書館スタッフ数:13名(うち専任5名) 蔵書数:30万冊

3学部のうち法学部の教授会でのプレゼンを想定

機関リポジリは、大江戸大学開学50周年記念事業プロジェクトの一環

# 機関リポジトリとは



WEB上で蓄積し、無料で公開  
資料の収集・保存を大学がサポート

# 国内の動向

## 機関リポジトリ登録数

	総数	IR数
国立大学	87	71
公立大学	89	14
私立大学	580	48
大学共同機関	19	1

IRDBコンテンツ分析システムより(2010年8月11日アクセス)  
<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>

# 政府の方針

- 平成 23 年度～「第4期科学技術基本計画」 総合科学技術会議  
「科学技術基本政策策定の基本方針(案)」(H22.5.27発表)

## ①機関リポジトリ・オープンアクセスの推進

研究成果を発表する場

## ②公的研究費を得た研究者の情報発信

わかりやすい形での研究情報の発信。機関リポジトリに登録し、社会的に広く公表すること。

# 機関リポジトリ導入のメリット

## ●研究者にとってのメリット

①新たな発信ルートの獲得

Google, Yahoo!でも検索可能

②研究成果の可視性の向上

認知度向上・被引用論文の増加

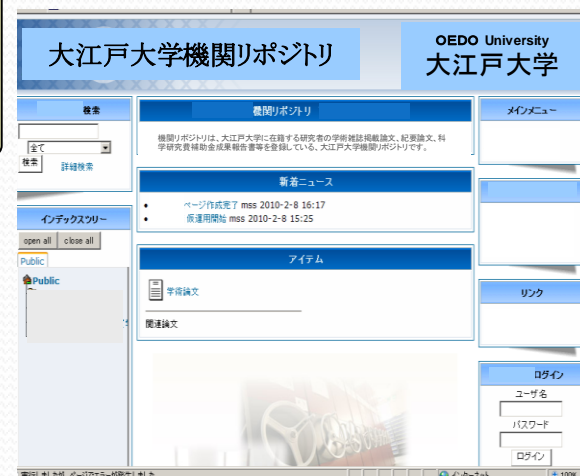
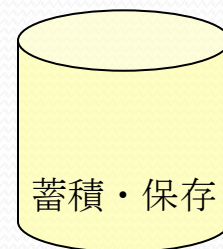
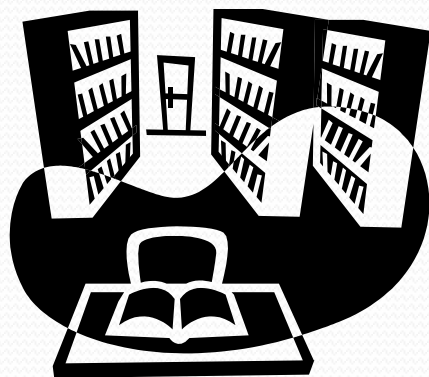
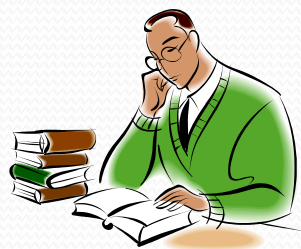
③一元的管理と長期保存の保証

業績管理のツール

参考:

平成22年度学術ポータル担当者研修「機関リポジトリ概論」配布資料

# リポジトリの流れ



研究者

登録申請書

学術成果を提供

図書館

メタデータ作成

著作権の確認

リポジトリ

公開(情報発信)

# 導入スケジュール

- 2010年9～10月

教員・大学院生対象説明会

- 2010年10～12月 コンテンツ収集開始

- 2011年4～8月 試験公開

- 2011年5月 公開記念イベント

- 2011年9月 本格始動



先生方の論文は…

世界が待っています。

機関リポジトリ実現にむけて、ご協力  
お願いいたします。



大江戸大学図書館